

第三課

機務作務課

電報

七六一九五〇發  
七〇五三〇著  
七〇六二五受付  
八〇六一〇提出

昭和一九、七、八

旭部 餘 參 謀 長

日誌用

通電先 次長、支總（漢口、南京）、波

旭參電第七六號（電註、一部未著ナルモ配布ス）

七月六日朝迄ノ狀況

一 衡州方面

(1) 岩部隊

白鶴舖占領ノ飯島大隊（歩兵第百九聯隊第一大隊）正面ニ對シ一部ノ敵昨五日夜攻襲シ來レリ 同方面ノ敵ハ鐵道及道路破壞中ナリ

(2) 佐部隊

昨拂曉志願波隊右第一線ハ敵陣地ヲ攻略シ一〇〇乃至一五〇米進出攻勢準備中ナリ

(3) 陣地ノ狀態

主抵抗線ハ精神線ヨリ瓦子坪（南一、五杆）衡州南一、五杆高  
地ヲ經テ木橋ニ通スル鐵道ノ線ナルモノノ如ク北ハ賈屋渡（衡州  
西七杆）以西汎濫シアル蒸水ニ托シアリ

主抵抗地帯ト判断セラルル高地ハ正面一五〇乃至二〇〇米ヲ堡壘  
化シ前方一クリークヲ利用シ高地脚ハ二米以上ノ

（電註、以下一部未著）

(4) 衡州、長沙間ハ三日朝以來有線電話連絡完了シアリ

(5) 駄馬驕重二中隊（彈藥一二應及其ノ他積載）ハ三日夜 同三中隊

（彈藥二二應及其ノ他積載）ハ四日夜共ニ浚口附近ニ於テ湘江ヲ

渡河シ衡山附近ヲ衡州ニ向ヒ急進中

彈藥一五萬乃至三五萬及糧秣其ノ他ヲ積載セル舟艇隊四隊ハ朱寧  
三四名二不名二〇〇斤(蘇州及湘潭附近ヲ衡州ニ向ヒ急進中、別ニ民船  
ヲ以テ彈藥約三〇〇萬、糧秣約二〇〇萬ヲ株州湘潭附近(四語不  
明)

江西方面

(1) 成部隊主力ハ永豐附近ヲ掃蕩中ニシテ小柴聯隊ハ昨夕横江橋(永  
豐東南一八軒)附近(二語不明)ニ向ヒ突進中(一語不明)湘鄉  
守備ノ足立大隊(歩兵第二百三十五聯隊第三大隊)ハ二日夜西方  
ヨリ攻撃シ來レル約五〇〇ノ敵ヲ三日朝擊滅、遺棄死體二〇〇。  
俘虜三六ヲ得本戰團ニ我ヲ損害甚大ニ、戰傷一、ノミ  
(2) 第四軍殘部及第五軍ハ永豐西方及河方地區ニ在ルモノ如シ  
第五軍第四八師(機械化)ハ六月末貴陽附近ニ進出シ貴陽(衡州  
道方面)ニ現出ノ願成アリ。又第一〇〇軍主力ハ寧鄉及其ノ周圍地  
區ニ進出第七三軍第七七師ハ益陽附近ヲ占領第一八軍ハ常德方面  
ヨリ益陽、寧鄉方面ニ進出ノ勢アルニ鑑ミ軍ハ第六戰團ニ對シ爾  
後ハ作戦ヲ準備スベク大要左ノ如ク部署セリ

(1) 成部隊

沅江方面突進部隊一引續キ金蘭寺（沅江方面西南二六行）方面ニ突進シ永豐方面ノ一部ト共ニ永豐方面ノ敵ヲ捕捉殲滅シ爾後一部ヲ以テ金蘭寺永豐ヲ確保セシメ主力ハ十五日頃以降寧郷又ハ賓慶方面ニ作戰シ得ル如ク準備ス

(2) 閉部隊

岩切支隊（歩兵九大隊基幹）ヲ沅江方面ニ前進・龍部隊及毛角口朱良橋ノ敵掃蕩部隊ヲ併セ指揮シ横市（寧郷西西南方三〇行）方向ニ對シ作戰ヲ準備ス

(3) 廣部隊

岳麓山・湘潭附近ノ警戒ヲ嚴ナラシムルト共ニ十七日頃以降旅團長ノ指揮スル歩兵三大隊並ニ部隊ヲ湘潭附近ニ集結シ寧郷西方地區ニ對シ作戰シ得ル如ク準備ス

江東方面

(1) 鹿部隊

爾後ノ攻勢ヲ準備スベク左ノ如ク來陽周邊ニ集結中ナリ

(イ) 大坪聯隊ハ小水舖、江陵橋（北四軒）ノ間

(ロ) 海福聯隊（一大隊欠）ハ秋田七（來陽西西南一六軒）附近

(ハ) 伊藤聯隊（一大隊欠）ハ鷹田錨附近岡村、水口山、官磁局、松柏

練碎所ヲ確保

(ニ) 挺進聯隊ノ一大隊（歩兵一中隊、山砲一小隊屬）ハ來陽南方地區

鑽山ヲ確保

(2) 山部隊

昨夕松山部隊ハ新市（七里坪北一八軒）南方ニ二神聯隊ハ官田南

方四軒附近

橋本聯隊ハ四日夜モ安仁城壁外ニ於テ鹿部隊掩蓋陣地ヲ有スル頑強

ナル敵（茶陵方面ヨリ南下セル敵ノ如シ）約五〇〇ヲ攻撃シ一部

ハ昨五日九時五十分城内ニ突入シ他ノ一部ハ同地東南方高地ノ敵

ヲ南浦攻撃中ナリ

宮崎騎兵聯隊（歩兵二中隊、山砲一小隊ヲ編ス）ハ醜陵附近ニ在  
リテ塔嶺（東南四軒）附近ニ對シアリ敵ハ四日夜以來數次ニ亘リ  
突撃シ來リ五日正午頃以來約二〇〇〇ノ敵ハ再三突撃シ來レルヲ  
以テ師團直轄タル若林大隊（歩兵一中隊、山砲一中隊屬）ヲ該地  
ニ反轉シ輜重聯隊ト共ニ宮崎聯隊ニ配屬セリ

(5) 極部隊ハ主力ヲ以テ瀾陽東南方地區ニ集結中

(4) 軍ハ醜陵東方地區ノ敵ヲ捕捉殲滅スベク極部隊ヲ速カニ醜陵東方  
地區ニ進出セシムルト共ニ針部隊（第二野戰補充隊）ヲ速カニ瀾  
陽附近ニ南下スル如ク部署セリ

(5) 陸路兵站線

健部隊ハ新市、長沙間ノ急造自動車道ヲ四日概成シ引續キ補備作  
業撈刀河ノ漕渡、瀾陽河ノ架橋ニ當ル

廢部隊ハ長沙、易俗河、衡州道ヲ銳意補修中自動車部隊約一二  
〇〇輛ハ六日新市南方地區ヨリ長沙ニ向ヒ前進ヲ開始ス（終）

315

1922

第三編

極秘

日誌用

傍受電報

昭和一九、七、八  
八月六時五十分  
電報班受付

旭部除参謀長

旭部除参謀長一號(本部部分)より取致之

前項二通未著、其ノ三

「仙岳山」(一)「敵艦」南三軒) 数次(二語脱) マ撃退確保シテ

リ、後援中ノ歩兵二大隊ハ(一)「敵艦」南三軒)、本見(二)「敵艦」南三軒)

新)ニ向テ其處ヲ襲撃シ「敵艦」南三軒)ニ語脱、ニ語不明)「山砲」大檢査

終) 七日二十一時「大砲」一山砲

(8) 陸部除七日「新砲」附近ヲ出撃セリ

二敵情

316  
cfc

1923

(1) 「薛岳」ハ日本軍ハ「長沙」ヲ放棄シ退却スト稱シ督戰ニ努  
ツツアリ

(2) 第五八軍ハ主力ヲ以テ「醴陵」東南側附近ニ又七、八百ノ敵ハ

「王仙」ハ「醴陵」東北一二村」ハ「醴陵」道ヲ前進ス

此ノ間一通（其ノ八）翻譯不能

其ノ九ヨリ

第一三三師ヲ以テ重鎮ヲ左ニ保持シ我ガ「山」部隊歩兵總三十四

聯隊ノ進出ヲ制スルモノノ如シ

(4) 第三七軍第六〇師ハ豫備隊九五師ハ「安仁」附近ニ在リテ相

當頑強ニ抵抗シアリ

(5) 「貴陽」附近ニ進出シアリシ裝甲第四八師ハ目下東進ノ企圖ヲ

有セザルモノノ如ク（三語不明）アリ

(6) 第七軍區兵站總監部（四語不明、一語脱）セントスルモノノ如シ

（以下一通アルモ未著）

3181E  
317

1924



第...課

極秘

日誌用

電報

通電先次長總參謀長

旭部隊參謀長

七、八、四、五、七、八、一、五、一、五、受、付、授、出

昭和一九二五

旭參電第九三號

七日朝迷火狀況

一 衡州方面

白鶴鋪正面ノ敵ハ迫撃砲ヲ有スル約四〇〇

ロニシテ昨夜ヨリ我々陣地前方ニ陣地ヲ

構築中ナリ

衡州攻撃中ノ部隊歩兵約三大隊ハ隨時他

ニ使用シ得ル兵力ヲ有ス

二 江西方面

成部隊

小柴聯隊ハ六日未明渣江ヲ占領引續キ金蘭寺ニ向ヒ突進中

堀内聯隊ハ一大隊基幹ハ六日二十四時永豊出發金蘭寺ニ向ヒ突進中

主力ハ永豊附近ニ於テ爾後ノ作戰ヲ準備中

三 江東方面

(1) 鹿部隊ハ廖田鋪平和墟(來陽西南一口料

一) 小水鋪附近ニ集結セリ

(2) 山部隊

松山聯隊中村砲兵聯隊ハ本朝來收縣東北

方地區ニ於テ沙溪陂(收縣北北東)ノ

一) 南方地區ノ敵第一六一師及第一師ヲ

日

一部ニ對シ攻撃ヲ準備ス

二神聯隊ハ昨正午大田(茶陵東北)ニ

進出本拂曉來茶陵北方地區ノ敵ヲ攻

擊中

橋本聯隊ハ依然安仁附近ノ敵ヲ壓迫殲滅

中

醴陵方面ノ敵ハ我が第一線前方ニ

乃至一五〇〇米附近ニ進出シアリ

(3) 極部隊ノ先遣隊(支那駐屯步兵第一聯隊

ノ二大隊山砲一中隊工兵一中隊)ハ本日

夕刻大室鋪出發大室鋪(草坪)西南南ニ

工料)一規頭洲(南)ニ(一語不明

規頭洲南側地區ニ向ヒ前進中ナリ

主力ハ歩兵三大隊山砲一大隊基幹ハ本  
日二十一時大窪鋪出發先遣隊ハ規頭洲附  
近ニ向ヒ前進ノ豫定ナリ

(4) 開部隊ハ主力ヲ以テ本朝新塙附近ヲ出發  
長沙ニ向ヒ前進ヲ開始セリ

四 湘江沿岸方面ノ大要左ノ如シ

湘江沿岸及衡州地區ノ防空ニ關シ部署セリ

(1) 高射砲第二十二聯隊ノ各高射砲一中隊岳  
州靖江長沙ニ配置ス

(2) 戰車第三師團防空隊(高射砲一中隊機關  
砲一中隊)ニシテ獨立機關砲第四十八中隊

(3) 戰車第二師團防空隊(高射砲二  
機 關 砲 一 中 隊)  
ヲ屬ス)ヲ湘潭易俗河附近ニ配置ス

(4)  
砲第三中隊ノ機關砲一中隊ヲ涿水湘江  
合流點附近ニ主力ヲ衡州附近ニ配置ス  
戰車第二、三師團防空隊ノ機關砲各一中隊  
ハ依然里部隊ニ配屬ス

(終)

322

1929

1929



秘

傍受電報

旭放送電第四三號

(七月九日)

旭部隊參謀長

昭和一九・七・十

七月十日十一時二十分(電報班受付)

一軍ハ衛州攻運部隊ノ後方連絡線ヲ安全ナラシムルト共ニ中部隊ノ安仁南方地區ヘノ進出ヲ容易ナラシムル爲成部隊主力ヲ金蘭寺・永豐附近ヨリ衛州附近ニ前進セシメ又極部隊ヲシテ醴陵周邊ノ敵ヲ掃蕩スルト共ニ醴陵・攸縣ヲ確保セシム

ニ各隊ノ狀況

- (1) 山部隊主力ヲ以テ敵第四四軍攸縣東方地區及茶陵北方地區間ニ南北ヨリ夾撃謀滅シツツアリ
- (2) 健部隊澧塘(金剛塘)南七軒一附近ニ於テ敵ノ抵抗ヲ排除シ九日梨頭州附近ヘ突進中
- (3) 成部隊・小柴部隊ハ黒須大隊ヲ以テ金蘭寺附近ヲ占領セリ

平政情

(1) 極部隊ノ南下ヲ阻止セントセルハ第九九師ナルモノノ如ク別ニ

第一六二師ハ醴陵附近ニ在リト判断セラレ

(2) 第六二軍軍部ハ七月二日以来文明舖(醴陽北二五紵)東南ニア

ルモノノ如シ

(3) 第七九軍ハ八日十二時第一九四師ノ一箇團ヲ以テ新橋(衡州西

一六紵)附近ニ進出主力ハ衡州方向ニ進出中ナルモノノ如シ

(4) 第一〇〇軍軍部ハ蘭田舖(潭市北一〇紵)ニアリ逐次南下湘郷

或ハ永豐ヲ攻襲ノ恐アリ

(5) 第五軍副軍長ハ全縣附近ニ在ルモノノ如シ、忠營(二語不明)

米空軍ハ總テ全縣ニ到着シアリ

(6) 空中偵察ニ依レバ寶慶、衡州道ハ寶慶西側ヨリ數十米毎ニ破壞

シ車輛部隊ノ使用不能ナルモノノ如シ

正明日ノ天氣

(1) 長沙北ヨリノ風〇〇―三米、高曇一時晴

(2) 衡州早朝西寄後北寄ノ風〇〇―三米、快晴時ニ高曇

(終)

第二編

極秘

日誌用

傍受電報

次長宛

旭放送第四四號七月十日

旭部隊參謀長

157400 宛  
110400 著  
111100 檢出

十一月十三時三十分 (電報差込)

昭和一九、七、一

各隊ノ狀況

(1) 衡陽攻陥部隊ノ攻撃準備ハ豫期ノ如ク進捗シ明十一日拂臨ヨリ攻撃ヲ開始ス

(2) 山部隊ハ茶陵西方山地ノ敵ヲ擊破中、爾後速カニ主力ヲ以テ安仁東南方地區ニ進出シ安仁附近ノ敵ノ捕提殲滅ヲ企圖ス

(3) 樞部隊ハ一部ヲ杏子舖ニ向ヒ進出セシメ主力ヲ以テ白兔潭東北方地區ノ殘敵ヲ掃蕩シタル後不十日日没後視頭洲南側高地ニ向ヒ前進歩兵第一大隊ヲ十日正午頃迄ニ醴陵ニ派遣シ官部隊ニ協力セシム

敵狀況



(1) 第九十九師及第一六二師ハ第五八軍長ノ指揮下ニ入レリ、第五十八軍ハ依然隨陵軍同ヲ企圖シアルモノノ如シ、其ノ第一線ハ隨陵東北東及東南方ニアリテ宮部隊ト對峙シアリ

(2) 第一〇〇軍ノ第六三團ハ九日一箇團ハ橫市(寧鄉西西南四〇軒)ニ到着、主力ハ十日馬跡塘(常德南五〇軒)出發橫市ニ前進ス、第一九師ハ虞塘市(永豐東方一五軒)周邊ニ進出シアリ

(3) 第七三軍第七四師ハ溫州、沅江間ノ地區ニアリテ師部ハ新市渡(益陽南一〇軒)ニアリ、第一五師ハ潭市(湘鄉西一八軒)附近ニ在ルモノノ如シ

(4) 第五八師ハ第一〇〇軍長ノ指揮ヲ受ケアルモノノ如ク永豐軍同ヲ企圖シ永豐附近ノ成部隊ト交戦シアリ

(5) 第七四軍軍部ハ依然常德ニアリ第五一師ハ第二四集團軍長指揮下ニアリテ寶慶附近ニ在ルモノノ如シ

晴 明日ノ天氣

長沙 南寄り後北寄りノ風〇―三米  
衡陽 南ヨリノ風〇―三米 晴後曇

(終)

極秘

日誌用

電報

七一〇二二發

七一〇三〇受付

昭和一九、七、二二

旭部隊參謀長

通電先 次長、總參謀長（漢口、南京）

旭參電第二〇二號

七月十日朝迄ニ於ケル狀況

一 衡州方面

(1) 轉家湖前面ノ敵ハ依然陣地ヲ構築シアリテ積極的行動ヲ觀メ

(2) 東村橋ハ衡州西北一六軒ノ周邊地區ニ第七九軍ノ一部進出シ  
アルニ儘ミ軍ハ之ヲ襲撃シテ衡州政府幹部ノ側面ヲ安全カラ  
シムベク成部隊ハ金剛山及水潭ヨリ各歩兵二大隊ヲ以テ衡  
州西北ニ向ヒ作戦シシムベク部署セリ

一 江西方面

益陽南方ニハ第七師ノ約一箇團陣地ヲ構築中ニシテ益陽城  
内ニハ一部ノ敵アリ

### 江? 東方面

### 山部隊

(1) 師團ハ本朝來依然攻撃ヲ續行シ敵ヲ茶陵西方山地ニ壓迫殲滅  
中ニシテ九日十二時頃松山聯隊ハ依然石陂頭東南高地一帯ニ  
頑強ナル敵ヲ攻撲中、二師聯隊ハ依然路水壩東西ノ線ニ於テ  
退却スル敵ヲ攻撃中ニシテ第一五〇師ノ二箇團ハ約四割ノ損  
害ヲ受テ西北ニ敗走セリ

安仁附近ニ増強セラルベキ部隊(中村大佐ノ指揮スル歩兵一  
大隊 山砲一中隊 迫撃砲一中隊)ハ本朝一時頃七都村ヲ出  
發セリ

新ニ岩中佐ノ指揮スル工兵主力 歩兵一中隊 山砲一中隊基  
幹ノ部隊ヲ石梁渡附近ヨリ赤水南岸茶陵ニ向ヒ突進セシムベ

ク部署セリ

(2)?

原所屬ニ復歸ノ爲長沙ヨリ醴陵ニ向ヒタル極部隊ノ歩兵一大隊ハ九日九時醴陵ニ進出、同地北方ノ警備ニ就ケリ

七日敵約七〇〇進出セル二八〇高地(醴陵北方)ハ八日夜杉本聯隊ハ之ヲ奪取セリ

醴陵方面ノ敵反攻ハ我が反撃ニ依リ消極化セルモノノ如シ

(3) 橋本聯隊ハ依然敵ノ執拗ナル逆襲ヲ其ノ都度反撃、撃碎シアリ

2? 極部隊ハ九日朝來自免潭東北方高地ヲ占領セル敵ヲ攻撃中ナリシモ十三時之ヲ撃破セリ

部隊ハ歩兵二大隊 山砲一大隊基幹ヲ以テ敵ノ梟頭洲南側ニ向ヒ追撃セシメ主力(歩兵二大隊山砲一大隊)ハ敗敵ヲ掃蕩中ニシテ別ニ九日日没後防衛部隊ヲ直接醴陵ニ派遣セリ

1936

(終)





# 極秘作戰緊急

純用

電報

通電先 次長、支領(重口南京)

旭部隊隊長

昭和一九三七、一二、  
一三〇三〇三〇  
三三〇三三〇  
三三三〇三三〇  
三三六〇三三六

旭部隊第三二八號

七月十一日 朝鮮進軍状況

## 一 衡陽方面

本十一日 航艦部隊ノ緊急ナル協力ノ下 七時攻撃前進ヲ開始シ 八時十分和南部隊正面向ノ敵前支隊ヲ奪取 爾後衡陽城攻撃ヲ準備中ナリ 長沙附近ヨリ 岳陽部隊ニ増強ナル追撃及山麓部隊ハ昨日十日衡陽ニ到着ナリ

## 二 江西地區

廣南隊ハ昨日夕ヨリ行動ヲ開始シ 衡陽西北地區ヲ掃蕩中ナリ

## 三 江蘇地區

(1) 通電隊ハ一部ヲ以テ 蘇州北方及東北地區ニ在ル敵ヲ急進シ 約一營ノ敵ヲ掃蕩中ナリ

(2) 山麓隊ハ一部ヲ以テ 蘇州東北地區ノ殘敵ヲ掃蕩セシメ 主力ハ本日茶陵附近ヨリ行動ヲ開始シ 安仁當地地方地區ニ進軍シ 安仁附近地區ノ敵ヲ包圍攻撃スルニ決ス。彼縣附近ハ 倭兵殺戮ナル敵ノ攻撃

ヲ受ケアリ

後方ノ状況

(1) 衛隊向ク開港船港ノ互角掃隊（四八隻）ハ連日敵機ノ執拗ナル妨害ト對水ニ當テ週常暴トヲ繰ルシテ夜間ノミ前進シ十一日朝其ノ先頭分隊（九隻）ハ瀋陽橋下（衛隊北方二〇軒）ニ到着シ重ニ交付ス

(2) 宣陽九ハ船隻機隊及地上軍約二〇〇艦ヲ積載飛行機ノ掩護下ニ十日十二時瀋陽ニ到着セシニ同日二十時頃敵機ノ襲撃ヲ受ケ炎上沈没時週ニ揚陸機シ機數品約六〇多ノ軍需品ハ爆撃ヲ蒙リ在營ノ機數ヲ受ケ（注）陸アリ

(3) 十一月十五時四十分新市ハ機隊二十數機ノ攻撃ヲ受ケ市街及集積庫諸品ニ被害ノ被害アリ

(4) 廠部隊ノ松浦附近ニ於テ占領セル湖前倉化鐵工場ノ内容在ノ如シ銀製品ニ三〇〇種ノ鑄造機二基ニ一基使用可能ニ従業員ノ大部ハ捕リテリテ二箇月ヲ以テ復舊可能ナリ

（終）

極秘



日誌用

電

報

七、一九三〇  
旭部

旭部 隊 參 謀 長

昭和九、七、三

通電先次長支總へ漢口、南京へ波

旭參電第一三三號

七月八日朝迄ノ狀況

一 衡州方面

(1) 白鶴鋪附近ノ敵ハ真面目ノ攻撃ヲ實施スルコトナ  
ク陣地構築中ナルガ如ク其ノ兵力約八〇。飛行機  
ノ報告ニ依レバ冷水灘(零陵北ニ五料)驛ニハ相  
當數ノ列車在ルモ零陵白鶴鋪間ニ敵車輛部隊ヲ認  
メズ

(2) 岩部隊ニ對シ十一日敵ノ前進據點(衡陽城西南端



ヨリ西西南一料鐵道線北側高地ヲ奪取シ次テ衡陽城ヲ一掃ニ攻略スル如ク命令セリ

二、江西方面

七日朝永豐西面四乃至六料ノ嶺が陸地ニ迫撃砲ヲ有スル約五ノ六。ノ敵攻撃シ来レルモ撃退セリ  
小柴驍隊ハ十七時白水鶴へ滄江西南方一三料へ進出セリ

三、江東方面

(1) 鹿部隊ハ大坪驍隊ハ小水鎮東方地區ニ進入セル敵ヲ昨日以來包圍攻撃中

(2) 山部隊ハ李驍隊ヨリ主力ヲ以テ「拓桑渡河」東岸地區ノ敵第四四軍ヲ攔撃東北方地區ニ於テ包圍攻撃中安仁附近ニ於テ橋本驍隊ハ歩兵一大隊半山砲

二中隊ハ孟家新鋪南岸ヨリスル執拗ナル敵第  
 三七軍ノ逆襲ヲ其ノ都度之ニ殲滅的打撃ヲ與ヘ  
 テ撃退シツツアリ醴陵附近ノ敵第五八軍同地東  
 南高地ニ逐次進迫シアリ六日以來仙岳山ニ對シ  
 数次ニ互リ攻撃シ來レルモ之ヲ撃退シアリテ七  
 日朝七一八〇〇ノ敵東北地區ヨリ醴陵進ク進出  
 シ来レリ同地官崎聯隊増援ノ若松大隊ハ盤樹鋪  
 へ醴陵南五村へ附近ニ於テ戦鬪中ナルモノ如  
 シ  
 其ノ他  
 岩本支隊ハ七日信陽附近ニ到基

機秘至急

電報

通電先長表頭(漢口南京)加部隊參謀長

旭參電第一四八號

七月九日朝迄ニ於ケル狀況

一 衡州方面

(一) 昨八日飛行機偵察ニ依テ寶慶一衡州道ハ寶慶

西側ヨリ數十米毎ニ破壊セラルリ(岩口舖(寶慶西

方ニ面料)一寶慶道上車輛部隊ヲ認メテ

(二) 兵站糧重衡州ヘ前送

加部隊ノ独立輜重兵為四聯隊ハ彈藥ニ大馳及其他

軍需品ヲ積載シ急進中ノ所本九日夜衡州西側地区

ニ到着ス

昭和一九、七、二二、

七、九、三三、三三、  
七、二七、三三、  
七、二八、三三、  
七、二九、三三、  
七、三〇、三三、

一 江西方面

黒須大隊ハ本朝七時三十分金蘭寺ニ突入ス

小柴聯隊ハ昨七日鬼子橋(金蘭寺東南方八軒)附近

ノ敵約三〇〇ヲ撃破シ十五時馬山鋪附近ヲ退進中ニ

テ本夕金蘭寺ニ到着ノ豫定

二 江東方面

ハ鹿部隊大坪聯隊ハ依然小水鋪東方ノ敵ヲ包圍攻撃

中ニテ伊藤聯隊第一大隊ハ昨夕馬王坳南側ニ進出セリ

三 四山部隊

ハ安仁附近ノ敵ハ鳳凰嶺東側地区及永樂江對岸

ヨリ攻撃ヲ徴下リテ七日中ニ於テ永樂江南岸ヨリ山砲

迫撃砲ヲ伴フ敵八十數回逆襲其ノ都度之ヲ及撃撃

滅セリ

漆田北側高地一帯ニ兵力未詳ノ敵集結シアリ  
 師團ハ歩兵一大隊砲兵一大隊ヲ守仁ニ増加配備シタルモ  
 醴陵附近ノ敵ハ七日夜以來積極行動ヲ認ム  
 敵ハ主力ヲ以テ醴陵東南ニ一部ハ東北才地区ニ在リ  
 宮崎聯隊一部ハ陣前ニ逆襲セル敵ノ一部ヲ撃滅セ  
 リ急援セル若林大隊ハ七日ニ時石ト金(醴陵西南南  
 六村)附近ニ集結シ宮崎聯隊ト連絡ヲ完了セリ  
 主力タル松山中村西聯隊ハ昨黎明第四軍ニ對シ  
 故襲ヲ開始ス  
 十時乃至十一時頃高梓嶺(攸縣東北北可村)東西ノ  
 線ニ進出ス  
 又坤松山聯隊ハ石陂頭ニ進出ス同方面ノ敵ハ頑  
 強ニ本朝ニ至ルモ尚抵抗スリ

二神聯隊六七日夕當下(茶陵東北方七村)附近ノ  
敵ト離脱シ西北進中八日十時頃ヨリ霹靂山(茶陵  
北北東ヨリ)梶田西方高地路水壠隘路口附近ニ  
於テ沙溪陂南方地区ヨリ東南方ニ退却中敵第五  
〇師ヲ邀ヘ之ヲ攻撃中ナリ

(3) 極部隊先遣隊(歩兵三大隊山砲一大隊)ハ七日夜老  
房(大窰舖南一大村)東西ノ線ノ堅固ナル陣地ニ據  
ル十以上ノ敵ヲ攻撃中ニテ主力ハ八日朝漳塘(老  
八房西北方三村)ニ到着セリ

(4) 自動車隊ノ推進先遣隊ハ昨日(二語不明)迄ノ自動  
車道路ノ構築完了本九日自動車部隊ノ先頭長  
沙ニ到着ス

四五日以來雨期期ノ本格的暑氣ヲ呈セリ

日誌用

電報

旭放送第四五號 七月十一日

各隊ノ状況

- (1) 岩部隊（二語不明）十分衡州西南方一軒敵前進陣地ヲ攻略セリ
  - (2) 衡州攻略部隊ハ（五語不明）ヲ出發セリ
  - (3) 成部隊主力ハ本十一日夕沙口附近ニ進出セリ
  - (4) 鹿部隊ハ來陽周邊ノ敵ヲ攻撃中
  - (5) 山部隊<sup>（注カ）</sup>ハ神部隊主力ヲ以テ茶陵西北一六軒ノ隘路口ニ於テ攻撃中（一語不明）部隊ハ新圩ニ向ヒ敵ヲ急追、田部隊ハ中水（茶陵西一六軒）附近ヲ攻撃中（一語不明）安仁ニ向ヒ急追中、二十二日時頃到着ノ見込、醴陵附近ニ於テハ若林大隊ハ石成谷（醴陵南々西五軒）ニ於テ敵ト交戦中、官部隊ハ（七語不明）方向ヨリ若林大隊ニ策應シ敵ノ背後ヲ攻撃ス
  - (6) 樞部隊先遣大隊ハ白鹿冲附近ニ進出セシ管
- 主力ハ白鹿潭東北地區ニ據レル敵ヲ攻撃中

旭 一〇三三〇  
 部 一〇三三〇  
 隊 一〇三三〇  
 七月十三日  
 昭和一九四七年七月十三日

(6) 一〇〇部、主力ヲ以テ(四語不明)隆安ニ到着セシ管  
二敵状

(1) 來陽南方地區(小水鋪、馬王坡、梧槽鋪南側附近)ニハ暫編第七

第八師、第四一師(二箇團)第四四師(一語不明)(一箇團)

暫編第五四師(二箇團)第八六師(一箇團)アリ

(2) 第一九〇師部ハ七日松柏西南側ヲ經テ常德方面ニ(一語不明)キ

(3) 第一三四師、第四〇〇團ハ担營橋東南ニアリ

(4) 第一六一師ハ第九九師長ノ指揮下ニ第九九師ハ以下(二語不明)第五八軍部ハ十日依

然登官(贛陵西南方三四軒)ニアリ、彈藥糧秣缺乏シアリ、第九九師ハ彈藥ヲ湘聚

ニ於テ補充ヲ受クルモノノ如ク又三粟市ニ於テ醫藥品ノ補充ヲ受クルノ如ク要求ス

(5) 第一集團軍ハ(一語不明)ニ移動ヲ命ゼラル

(6) 一二語不明(兵站總監部ハ(地名不明)ニアリ

(7) 第六五軍第一六〇師ハ順慶附近ニ集結ス

(8) 第三一軍ハ南寧ヨリ墟縣ニ移動セリ

(9) 第一三三師ノ二箇團茶陵(以下七語不明)山地ニアルモノノ如ク

(10) 第七二軍新編第一五師ハ(二語不明)黃土嶺ニアリ

(11) 第二集團軍段王陵基ハ宜春ニアリ

衡州、同天候

風沙、南ヨリ風〇一三米、快晴後晴

明日ノ天氣

(終)





(4) 山部隊ハ主力ヲ以テ「茶陵」北方地區ノ敵ヲ捕捉攻撃中ナリ  
 又「安仁」増援部隊ハ「安仁」北方ニ進出セル敵ヲ攻撃中

敵情

(1) 「衡州」城内ニハ尙第一〇軍長アルモノト判断ス

「白鶴舖」附近ニハ第六二軍攻撃シ來リ又第一九四師ハ「衡州」ハ「白鶴舖」間ヲ遮斷スル如ク攻撃シツツアリ

(2) 第九八師ハ「金蘭寺」ヲ攻撃中

(3) 第四四軍軍部ハ十日「瓦子坪」ハ「攸縣」東方一二村ニアリ  
 第一線ハ「攸縣」東九村、兩六村附近ニ於テ我ト交戦セ

シモノノ如ク彈藥缺乏シアリ  
 (4) 第二〇軍ハ彈藥缺乏シ「茶陵」南方ニ於テ十二日補充セントシアリ

(5) 第九九、一六二師ハ「白兔潭」東北陣地及「上栗市」西南方

陣地ニ撤シ轉戦シツツ「上隴莫」ハ「萍鄉」道上段「湘東」  
 方向ニ南下スルモノノ如シ  
 「明日ノ天氣」ハ「長沙」南ヨリノ風〇「三米高疊」後疊  
 「衡州」南ヨリノ風〇「三米高疊」々々

(終)



極秘

日誌用

海軍電報

旭放送第四七號 七月十三日

昭和一九、七、一四  
 一三二〇〇〇 受付  
 一四〇〇九三〇 著  
 一四〇〇〇〇 提出  
 七月十四日十五時三十分 (電報班受付)  
 旭部 以 參 謀 長

一軍ハ落夫衛州城ニ對スル包圍ヲ遂續スルト共ニ醴陵、醴陵、茶陵安仁、  
 茶陵及永新、衡州間ノ地區ニ於テハ敗殘第九機區軍及一部來援スル第  
 六機區軍ヲ擊滅シツツアリ

ニ各隊ノ狀況

(1) 鹿部隊 主力ヲ以テ十四日來陽南方川瀨公路正面ニ蟬集セル敗殘  
 敵第二六軍首領第五四師各主力及暫編第七、八師各一部ヲ陣前ニ

欺騙誘致シテ包圍殲滅(二語不明)シアリ

(2) 山部隊 主力ハ神部隊ヲ以テ茶陵東方高地ニ西圍シテ攻撃スルト

共ニ松部隊ヲ以テ茶陵北方高地ヨリ敵ヲ沐水ニ壓迫スル如ク致談中  
 田部隊(工兵主力)ハ平水(茶陵西一五軒)ヨリ茶陵西北側ニ向

七、安慶部隊（歩兵二中隊、山砲一中隊）ハ、水南岸ヲ經テ茶陵西  
南ニ突進敵ヲ擊滅中

(8) 樞部隊 本十三日曉、贛州附近、涿江南岸ヲ敵將五八軍ノ背後ヲ求  
メテ攻撃中

敵情

(1) 衡州城内ニハ第一〇軍長ノ指揮スル、衛隊アルモノノ如シ

(2) 第一九四師主力ハ新橋（衡州西一六軒）西方及東方地區ニ遊動シ  
ツツアリ、軍主力ハ金馬橋、泰岡ヲ企圖シアルモノノ如シ

(3) 茶陵南方地區ニ於テ小水舖以南、川湘公路ニ沿ヒ縱深約二〇軒ニ亘  
リ逐次障地ヲ構築シアルモノノ如シ

(4) 茶陵北方地區ニアリシ第四四軍ハ一部ヲ以テ攸縣方向ニ對シ、攸水  
及涿水東岸山地ニ宿營セシメ主力ハ逐次其ノ東方地區ニ集結、第二

〇軍ノ機團ニ策應スル爲茶陵北方地區ニ向フモノノ如シ

第二〇軍ハ茶陵附近ニ在リ

(5) 隨陵附近ノ第五八軍ハ塔嶺、南湖ヲ占領スルト共ニ一一二村後退  
シツツアリ

四明日ノ天氣

長沙 南ヨリノ風〇―四米、雨後曇

衡州 南ヨリノ風〇―四米、快晴後雨

( 5 )

極秘

傍受電報

七月十五日十七時三十分 (電報班交付)

昭和一九、七、一五

次長宛

旭部隊隊長

旭放送第四八號 (七月十四日)

我方軍ノ狀況

(1) 衡州攻略部隊ハ豫定ノ如ク明十五日ヨリ衡州城ニ對シ本攻撃ヲ開始ス

白鶴嶺確保 (三語不明) 島大隊ハ依然激戦中ニシテ當面ノ敵ハ第一五一師主力及第二 (一語不明) 師ノ一部計約五〇〇〇

(2) 廣部隊主力ヲ以テ豫定ノ如ク本十四日黎明ヨリ行動ヲ開始敗殘第二六軍主力ヲ攻撃中

(3) 山部以主力ハ茶陵附近ノ第二〇軍主力ヲ包圍攻撃中ニシテ安仁附近ヘノ進出ハ十八日頃下ナル豫定、橋部隊 (十二日夕中部隊下進

絡繰レリ) (一語不明) 官部隊ハ依然攻撃ニ依リ敵ノ反攻ヲ察見

シツツアリ

(4) 樞部隊主力ハ王仙(隴峻東北一二三軒)附近ニテ、涿江ヲ渡河敵第五  
八軍主力ノ背後ヲ攻撃中

ニ敵狀

(1) 第三六軍長ハ尙衡州城内(四語不明)

(2) 第二七集團軍長楊森ハ蓮花ニアルモノノ如シ

(3) 薛岳ハ第二〇軍主力及第三七軍ノ一個師ヲシテ、衡州ニ向ヒ赴援  
セシムベク區處シアリ

(4) 第六六軍ハ茶陵ニ(二語不明)シ主力ヲ糾合シ第一六〇師ノ主力  
ヲ以テ再ビ茶陵方向ヲ攻撃セシムベク企圖シアリ

(5) 第二七集團軍長ハ第一三四師ヲシテ地方武装團體ヲ糾合シ平江ヲ  
奪回セシメントシアリ

(6) 薛岳ハ各軍師ニ對シ夜襲隊ヲ編成セシメ我方軍後方擾亂ヲ企圖シ  
アリ

七月十六日ヨリ情報放送時間ヲ左ノ如ク變更ス

第一回十二時三〇分 第二回二三時三〇分 第三回八時一〇分

返ス 外必要事項ヲ附加スルコトアリ (必要事項ハ其ノ都度必

要部際ニ通報ス)

明日ノ天気

長沙 晴後曇 南寄ノ風 〇〜四米

衡州 晴後高曇 南寄ノ風 〇〜二米

2. (終)



# 至急秘親展

1957



彈藥糧秣三箇目分有之強藥相、缺乏シテモ戰意  
尚旺盛ナリ

三 江東方面

鹿部隊、小水鋪南才側地區ニ蝟集セル敗殘兵第

二六軍警備第五師主力及警備第七、第八師ノ

一部ヲ陣前ニ欺騙誘致シ包圍殲滅スベク期十四日

黎明行動ヲ開始シ海邊聯隊ヲ以テ清水鋪附近ヲ主

力ヲ以テ茨山店(小水鋪南才側)附近ニ一部ヲ以テ

松柏亭(小水鋪南才側)附近ニ向フ、又六坪聯隊ヲ

以テ清水塘附近ヲ主力ヲ以テ松柏亭附近ニ

一部ヲ以テ公平墟附近ニ向テ攻撃スル如ク部署セリ

山部隊

山本聯隊、十日未明ヨリ十日朝ニ栗間安仁

北方ノ敵第六及第一四師ノ有力な一部ヲ攻撃  
分水均(安仁北六科)黄岡壩(西五科)ノ線ニ  
進出セリ

増加セラレル中村聯隊ハ十日未明安仁北方地區ニ  
進出敵ノ背後ヲ攻撃セリ

右ノ攻撃ニ依リ敵ハ分水均東方地區及單山附近  
ニ退避セリ

茶陵附近ノ敵ハ十日來茶陵東方及北方高地ニ依  
リ眞面目ノ抵抗ヲナシ

ニ神聯隊ハ引續キ敵ノ退走ヲ遮斷スル如ク攻撃  
シ昨夕又全カヲ以テ茶陵東方高地ニ向ヒ西面ヲ  
攻撃中

松山聯隊ハ昨日午後以來主力ヲ以テ澤山(茶陵

北四科)一部ヲ以テ茶陵北方ノ敵ヲ赤水ニ壓迫  
ス如ク攻撃中

田中聯隊(工兵主力)ハ十日夕高水(茶陵西北方  
一六科)附近ニ於テ一部ノ敵ヲ撃破シ良辰(茶陵  
西北方四科)附近ニ向ヒ急進中ニテ新ニ編成  
セル安藤部隊(師團高級副官ノ指揮スル歩兵三  
中隊 山砲一中隊)ハ十日土時三十分 平水出發  
赤水南岸 茶陵南方地區ヲ突進中ニテ昨日  
午後 平水東南方高地ニ在ル約一營ノ敵ヲ攻撃  
中ナリ

(ハ)醴陵附近ノ敵ハ我が陣地ニ逆襲セル都度甚大  
ニ攻撃ヲ受ケ昨十日來同地南方及東方地區  
ノ敵ハ一部ヲ我が陣前ハ。赤水附近ニ殘置シ

一乃至二科ノ線ニ後退シテ  
 塔嶺(醴陵  
 東南方四科)佛子峯(醴陵東四科)附近ノ敵  
 ハ依然陣地ヲ増強シテ  
 樞部隊ヨリ派遣スル歩兵大隊ハ十日午後醴陵ニ  
 到着セリ  
 (3) 樞部隊 信部隊  
 (1) 樞部隊ノ失遺隊ハ十日朝魁沖(醴陵東方約  
 二科)ニ進出約一〇〇ノ敵ヲ撃破シ前進中  
 (2) 社港市 相文市 警備ノ樞部隊一部ハ八日瀏  
 陽駐備隊ハ十日各々信部隊ト交代セリ

(終)

至急秘親展

9301

1963

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>